



『たかが挨拶されど挨拶』『ありがとうという感謝の心』『学校は勉強するところ』

## 震災から学ぶ！ ～「命の大切さ」「わたしたちができることは何？」～

今から28年前の平成7年1月17日の午前5時46分に、阪神淡路大震災が起きました。その地震の規模は、マグニチュード7.2で、特に阪神地域では建物の倒壊や火災などが相次ぎ、その後の災害関連死も含めて6434人の方がお亡くなりになりました。震災当時に発行された新聞(改野先生提供)を職員室前に掲示しましたが、その記事が壮絶さを物語っています。

本校では、1月17日の朝に各教室で黙祷をした後、全校放送で、震災前日に米津漢之(くにゆき)さん(当時小学1年生)が書かれた「あのね日記」を読み上げ、震災について考えてもらいました。漢之さんは、震災前日に母や妹と一緒にカレーやグラタンなどをつくり、次の日に家族で食べるのを楽しみにしていましたが、震災で家屋が倒壊し、漢之さんと妹さんは次の日を迎えることができませんでした。この子どもたちへの両親の思いは想像もできないほど、深い悲しみであったことでしょう。そして何よりも、突然に奪われた2人の幼い命、次の日を迎えられなかったきょうだいの無念さは計りしれないものであったことと思われまふ。

また、次の日の5校時に2年生対象に実際に震災を体験した改野先生が防災教育(オンライン)を行い、そのときの様子などを伝えました。そして「ハザードマップ作成、ボランティアの普及、防災学習、建物の耐震化、携帯電話の普及、道路・交通網の整備」など、震災以降に大きく変わってきた内容も学習したあと「災害が起こったときに私たちにできること」をテーマに考えを深めました。

3・11の津波では千余人の犠牲者を出した岩手県釜石市において、小中学生約2900人(学校に居なかった5人を除く)が全員無事だったという「釜石の奇跡」が語り継がれています。その釜石市の防災教育を指導してこられた片田敏孝先生(当時、群馬大学教授)が「大いなる自然の営みに畏敬の念を持ち、他に委ねることなく、自らの命を守ることに主体的であれ」の信念に基づき、避難3原則を次のように言われています。

- ◆ 想定にとらわれるな……………(相手は自然。防災設備や想定マップを超える可能性も大。)
- ◆ ~~最善を尽くせ~~……………(その日、そのとき、その状況下で、自分にできるベストを尽くすのみ。)
- ◆ 率先避難者たれ……………(人間の大丈夫、安全と思いたがる習性が逃げ遅れを生む。まずは自分が逃げる。それが他の人の避難を誘い、結果的に多くの命を救う。)



地震や津波などの自然災害、事故・事件、様々な出来事の中で、命を失ったり普通の日常が奪われたりすることは誰にでも起こりうることです。今、私たちは、新型コロナウイルスの影響でさまざまな制約を受けながら生活を送っていますが、改めて、命の大切さや日常生活を無事に過ごせることへのありがたさを感じています。震災から28年たった今ですが、このことを風化させずに、しっかりと胸に刻み、生きていくことが大切であると感じました。

### 2023 生徒総会の開催！「生徒会スローガン：一致団結～All for All～」 「校則見直し」も決定！（1/16）

1/16、生徒総会がオンラインで行われました。最初に、清水生徒会長が「落ち着き集中して学習できる環境をつくる。皆さんの意見を取り入れ執行部の活動に反映させる。全校生が過ごしやすいと思えるような学校づくりを行う。活気のあふれる学校にする。」の方針のもと活動を行うなどの内容を堂々と述べてくれました。次に各委員長による委員会活動方針や学年総務による学年代議員会活動方針が述べられ、各学級からの具体的な質問に執行部の生徒たちは的確に答弁していました。

その後、2学期から取り組んできた「校則見直し」について、甲斐前生徒会長から提案があり可決されました。校則見直しについては、各学級で審議したあと、生徒会執行部と協議を行い提案されたものです。校則見直しにあたり、職員も「学校や地域の実態に応じて生徒たちの選択の幅を広げること。入学試験や就職試験に臨める服装・髪型であること。生徒が主体となって考えたものであること。」等を大切にしながら生徒会と協議を重ねてきました。なお、具体的な内容については、生徒会だよりを通じてお知らせしています。



### 「自分が見ていい自分」と「他人がみていい自分」は違うことを忘れずに！（入試面接）



12月末から面接を必要とする3年生対象に面接練習を行っています。「これぐらいならいいか」と甘い判断をしないでください。皆さんとは初対面の方が面接を行います。そのときの第一印象はものすごく大切です。「自分が見ていい自分」と「他人が見ていい自分」とは違うことを忘れないでください。また、「面接だけ何とかしのげばいいや」という考え方はすぐに見破られるものです。要は、普段からの生活が大切なのです。普段の行動等が面接のあちらこちらで出てくるものです。頑張ってください！先生たちは、皆さんを応援しています。

「ひょうごSDGsスクールアワード2022」 優秀賞！(1/24)

1/24、「ひょうごスクールアワード2022」において、本校の取組が優秀賞に選ばれました。本校からは、中心となって指導してきた坂口先生とSDGs推進委員代表の坪田さんが表彰式(場所:兵庫県公館)に参加をしました。中学校の部で最優秀賞は1校、優秀賞は2校でした。(1/24のサンテレビでもその様子が紹介されました。)

本校は、今年度「たつの市のSDGs達成に向けて自分にできることは何だろう」というテーマで動画を作成し応募しました。(全校生の皆さんには始業式に視聴してもらいました。)

生徒会で行っているペットボトルキャップ回収や古紙回収をSDGsを意識した活動として取り組み、SDGsポスターの作成やフードドライブ活動も行いました。さらに、空き家問題や環境問題についての施策も市長に提案することができました。今後もSDGsの視点を大切に、身近なところからできることを考えていきましょう。



月日	曜	3月行事予定	給食
3/1	水		○
2	木	3年愛校作業	○
3	金	卒業式練習 3年給食終了日	○
4	土		△
5	日		△
6	月	卒業式練習	○
7	火	卒業式準備 ★	△
8	水	卒業証書授与式	△
9	木		○
10	金	公立高校一般入試	○
11	土	(公立高校総合学科実技検査:総合学科実技検査を選択した生徒のみ)	△
12	日		△
13	月		○
14	火		○
15	水		○
16	木	2年学年懇談会	○
17	金	公立高校一般入試合格発表 給食最終日	○
18	土		△
19	日		△
20	月		★
21	火	春分の日	△
22	水		△
23	木		△
24	金	修了式	△
25	土		△
26	日		△
27	月	春季休業日	△
28	火		△
29	水		△
30	木		△
31	金		△
4/1	土		△
2	日		△
3	月		△
4	火		△
5	水		△
6	木	着任式、始業式、入学式準備	△

栄光への足跡(大会の成績等)

- 第35回西播中学校バスケットボール強化大会  
〈男子の部〉 **優勝**
- 第38回揖龍中学校女子新人駅伝競走大会  
**第2位**  
・1区 **第1位**(秋田彩乃) ・2区 **第3位**(福島朋果)  
・3区 **第2位**(山田さやか) ・4区 **第2位**(平川惺那)  
・5区 **第2位**(川口由桜)
- 第1回南淡CUP男子ソフトテニス大会  
**第2位**
- 第19回西播地区中学校新人駅伝競走大会  
〈女子の部〉  
・1区 **第3位**(秋田彩乃) ・3区 **第3位**(山田さやか)  
・4区 **第3位**(平川惺那)
- 第19回西播地区中学校ロードレース選手権大会  
〈男子1・2年生の部〉  
**第2位**(山田悠斗) **第3位**(澤田紘一郎)
- 第47回西播地区中学生柔道大会  
団体戦  
〈男子の部〉**優勝** 〈女子の部〉**優勝**  
個人戦  
〈男子1年生の部〉  
・60kg以下 **優勝**(塩杉桂司)  
・60kg以上 **優勝**(三隅朔久) **準優勝**(山下樹平)  
〈男子2年生の部〉  
・60kg以下 **優勝**(西村蓮)  
・60kg以上 **3位**(内野翔太)  
〈女子2年生の部〉  
・52kg以下 **優勝**(三隅一葉)  
・52kg以上 **優勝**(福島麗風) **3位**(川本琉稀)  
**3位**(内海奈々)  
〈女子1年生の部〉 **優勝**(山田瑛)



★はノー部活動デー(大会等で変更もありますので顧問に確認してください。)土日は、どちらか1日が「ノー部活動デー」になります。行事予定の変更等の場合はお許しください。



1/25(水) 龍野西中学校の様子